

人権学習展開例（第2学年）

主題名

優しさ いっぱい

教材名

やさしい心

人権学習の視点

普遍的な視点「人権の意義」



主題・教材について

人は生まれてから、多くの人の支えや優しさを守られて育っていく。これまで生きてきた中で、家族や親戚、学校の先生や友達に優しくしてもらった経験、また、家族や友達などに優しくした経験があると思われる。

この教材では、これまでの自分の経験を振り返り、自分が大切にされてきたことや自分の優しさに気付かせたい。また、優しい心で人に接し誰とも仲良く日常生活を送ることで、一人一人が幸福な生活を送れる基盤を築くことに気付かせたい。

ねらい

自分が大切にされてきたことや自分の優しさに気付かせるとともに、優しい心で人に接し誰とも仲良くすることの大切さに気付かせる。

本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導入	○本時の学習課題を知らせる。	一斉	○本時の学習課題を知る。		資料 「やさしい心」	
	「やさしい心」について考えよう					
展開	○「やさしい心」を読み聞かせる。	一斉	○「やさしい心」の詩を聞く。		ワークシート	
	やさしくしてもらったことを話そう					
	○優しくしてもらった経験を振り返らせる。	一斉	○優しくしてもらった経験と、その時の気持ちを自由に発表する。	○誰に、どんなことをしてもらい、どんな気持ちになったかを考えさせる。 ○家族や友達、先生などに優しくしてもらったことを思い出させる。		色鉛筆
	自分の「やさしい心」を見つけよう					
○優しくしたことがある経験を振り返らせる。	個別 一斉	○優しくしたことがある経験と、その時の気持ちをできるだけたくさんワークシートに書き、発表する。	○誰に、どんなことをして、どんな気持ちになったかを書かせる。 ○家族や友達、先生などに優しくしたことを思い出させる。			
自分もっている「やさしい心」って どんな色かな						
○自分が思う優しい心についてイメージをふくらませる。	個別 一斉	○優しい心の色を想像してワークシートに色を塗る。 ○塗った色を発表する。	○優しくしてもらった時の気持ちや、優しくした時の気持ちを考えながら色を塗らせる。 ○一人一人の意見を大切にする。			
まとめ	○優しい心で人に接し誰とも仲良くすることの大切さに気付かせる。	一斉	○教師の話を書く。	○優しい心で人に接することが、一人一人の幸福な生活につながることに気付かせる。		

評価

自分が大切にされてきたことや自分の優しさに気付くとともに、優しい心で人に接し誰とも仲良くすることの大切さに気付くことができたか。

